

「令和」揮毫「地元」に感謝

茂住さん 飛驒市役所訪問

菅官房長官が新元号発表
大臣官房人事課辞令専門職
の記者会見で掲げた「令和」
の茂住修身さん(63)が1
の墨書を揮毫した、内閣府
日、出身地の飛驒市を訪れ、



飛驒市に寄贈された「令和」の書を手にする茂住さん(左)と都竹市長

都竹淳也市長にあいさつした。
た。

茂住さんは、飛驒市古川町出身で、茂住青邨の雅号を持つ書道家。新元号が発表された後、都竹市長がツイッターで茂住さんが揮毫したと紹介していた。

市役所でこの日、都竹市長から「私たちにとっても名誉なこと、市民は大変喜んでいいる」と伝えられた茂住さんは「私も大変驚いている」と答え、「令和」の書と万葉集の歌をしたためた色紙を市に贈った。

「青邨」との署名入りの額を手にした都竹市長は「宝物にします。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べた。寄贈された作品は、連休明けにも市役所で公開する予定だ。

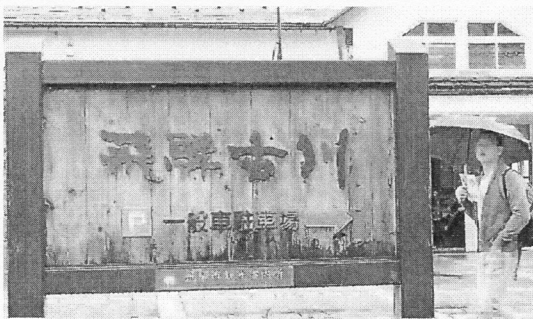
茂住さんは「私は表に出る立場ではないが、各方面から声をかけていただいた

ことに感謝し、地元にお礼を伝えられた」と語り、品を寄贈した。

茂住さんの作品散策地図

飛驒市は、市内各所に展示されている茂住さんの書を紹介した散策マップを作成した。

新元号が発表された後、

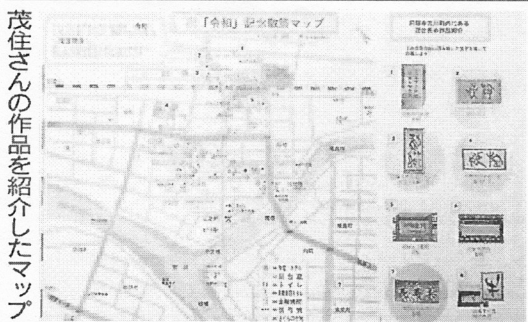


茂住さんの作品の一つ、JR飛驒古川駅の看板

市内の展示場所に関する問い合わせが相次いだためだ。マップはA4判両面カラー印刷で、市役所や市図書館に掲げられた作品やJR飛驒古川駅の看板など8か所を紹介。作品の写真と案内地図、茂住さんのプロフィールや書に関するクイズを載せた。観光案内所と市観光課で配布している。

茂住さんは「作品を見てもらえるのはうれしい」と話している。

祝賀ムード一色



茂住さんの作品を紹介したマップ